



可見市長に事業を説明する里山若葉クラブの会員

6/25 協働のまちづくり事業を認定

「里山若葉周辺事業」が、協働のまちづくり事業として認定され、市役所で認定式が行われました。

この事業は、里山若葉クラブが、「高齢化が進む若葉台で、高齢者が元気に過ごせるまちづくりをしたい」という思いから、自治会が所有する保安林などを、住民の憩いの場として整備しているものです。

今後は、ピオトープ（池）を造り、子どもの自然教育ができる場としても整備していく予定です。

7/2 広見線「残って」と願い込め

瀬田幼稚園の年長児 31 人が、名鉄広見線明智駅のホームに七夕の飾り付けをしました。

これは、沿線市町の可見市・御嵩町・八百津町で、利用促進のために立ち上げた名鉄広見線（新可見駅～御嵩駅）活性化協議会が企画したものです。

園児たちは、ササ飾りに「明智駅が無くなりませんように」などの願い事を書いた短冊を結び付け、「かないますように」と声をそろえました。



声をそろえて願う園児たち



元気いっぱい演奏する兼山小学校マーチングバンド RANMARU

7/4 美しい歌声と力強い演奏

文化創造センター・アールで、「可見市音楽祭2010」が開催されました。

小学生から一般までの 10 団体が参加し、各団体の代表者が団体の紹介や活動内容を話した後、合唱、吹奏楽、ギター演奏などを披露しました。

来場した約 700 人が、ホールに響き渡る美しい歌声や、迫力のある演奏に聴き入っていました。

7/8 子育ての秘訣を学ぶ

市PTA連合会と教育委員会は、文化創造センター・アールで、家庭教育講演会を開催しました。

講師は、キャスター・エッセイストの浜尾朱美さん。

約 500 人の来場者は、「子どもとところを通わせる～『子ども』から『大人』へ～」をテーマとした、浜尾さんの子育て経験を交えた話に聞き入り、「周りの人に助けてもらいながら、子どもの話に傾聴すること」など、子育ての秘訣を楽しく学びました。



笑顔いっぱいで話す講師の浜尾朱美さん